

おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2022
(令和4年)

No.211

11



にじいるこども園の運動会の様子



- ◆ 第4回臨時会 2ページ
- ◆ 第5回定例会 3ページ
- ◆ 一般質問 5ページ

- ◆ 審議結果表 9ページ
- ◆ 特別委員会 10ページ
- ◆ 請願・陳情 11ページ

- ◆ 意見書(抜粋)/請願や陳情の提出方法 12ページ
- ◆ 議会日誌/12月議会日程 13ページ
- ◆ スマイルインタビュー/あとがき 14ページ

第4回 臨時会

令和4年7月14日に行われました。

総務文教委員会 主な審査内容

●令和4年度大竹市一般会計
補正予算(第4号)

Q 商工費の、商工振興事業で、クーポン券を発行すると説明があったが、過去の利用率と利用可能な事業者数について問う。また、配布対象者の基準と人数について問う。

A 利用率については、1回目目が94.5%、2回目目が95.9%である。事業者数については、1回目目が281事業者、2回目目が290事業者である。配布対象者については、令和4年7月末現在で大竹市に住所を有する方に配布を考えている。人数については、7月1日現在で住民基本台帳人口が2万6191人であるため、同程度の人数を見込んでいる。

こちらのQRコードから
大竹市ホームページ
『第3回コイちゃん
クーポン事業について』
にアクセス出来ます。

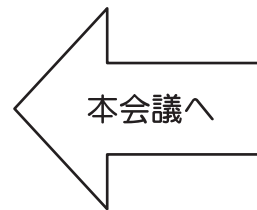


配布されたコイちゃんクーポン
(使用期限は 11月30日まで)

Q 教育費の、学校給食費支援事業で、学校給食費の半額支援を実施する根拠と支援の期限について問う。

A 今回の半額支援の具体的根拠はない。材料値上げ分の支援や主食費、牛乳費の支援などを検討した結果、物価高騰及び子育て支援策として、学校給食費について、県内市町の中でもトップクラスに手厚い、子育て世帯への経済的負担の軽減策を行いたいと考えて、半額支援とした。
期間については、10月から3月末までの予算を計上している。

採決の結果、原案のとおり可決



本会議へ

【反対討論】

無償化は、以前議会から提案したが、長期的に財源を確保できないとの理由で実現しなかった。当時と状況が変わった認識はない。財源があれば教育の充実に使うべき。

【賛成討論】

半額の補助に加えて、来年度に向けた無償化への強い意志を感じた。保育所の副食費に関しても補助の検討を進めていくということ、第一歩を踏み出せたと思う。

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

本会議及び委員会の動画配信中

大竹市議会では本会議及び常任委員会の録画映像を動画で配信しています。
下記のQRコードを読み取っていただくと、動画配信サイト (YouTube) へ移行し視聴できます。



YouTube 大竹市議会



/ で検索 /

第5回 定例会

生活環境委員会 主な審査内容

●大竹市税条例等の
一部改正について

Q 固定資産税課税台帳の閲覧や記載事項の証明書の交付の際、DV被害者等の住所が漏れることがないように、住所に代わる事項を記載する、とのことだが、住所に代わる事項とは具体的にどのようなものか問う。

A 令和4年度から、市に支援措置の申し出があったものは住所の代わりにアスタリスクを表示させ、住所が知られない対策をしている。令和6年度の条例施行後から登記所に申し出のあったものは支援団体等の住所が住所に代わる事項として表示される。

●大竹市下水道条例等の
一部改正について

Q 井戸水などの水道水以外の水を排水している場合、原則として量水器をつけるとの改正だが、散水の場合はどうなるのか問う。

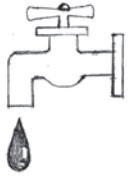
A 散水専用で給水申請があった場合は、上水・井戸水にかかわらず、量水器の設置対象ではない。

●令和3年度
大竹市水道事業会計
大竹市工業用下水道事業会計
大竹市公共下水道事業会計
剰余金の処分及び
決算の認定について

Q 大竹第1排水区浸水想定区域図等作成業務は終了していると思つが、市民への公表はいつ頃になるか。また、他の排水区の作成状況を問う。

A エリアとしては、概ね、元町4丁目から立戸3丁目と御園新町川までの範囲の浸水想定区域図を作成している。すでにハザードマップとして図面はできているのであるべく早く、ホームページでの公表や、避難所への配布を行いたいと考えている。

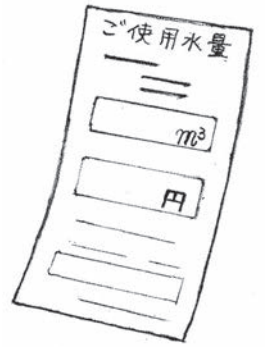
その他のエリアについては、令和4年度に防鹿地区を含め、市街化区域の残りのエリアについて、浸水想定区域図の作成業務を行っている。



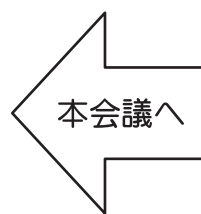
●大竹市水道条例の
一部改正について

【解説】
《原案》
水道料金を改定するため、大竹市水道条例の一部を改定しようとするもの。
改定の主な内容
▽ 一般水道料金の値上げ
▽ 水道メーター使用料を廃止し、
□ 径別の基本料金に移行
▽ 基本水量の引き下げ
一般用：10㎥ → 8㎥
業務用：20㎥ → 8㎥

【修正案】
《委員より修正案の提出》
大竹市水道条例の第25条第1項の改正規定を修正
【趣旨】 上下水道局が提出した修正案は、令和5年4月から見込まれる臭用水の使用料金の値下げ分1000万円を、一般用に30%、業務用に70%振り分けた料金表となっている。
業務用は一般用の、3倍以上の料金を払っていただいており、今ここで、業務用を100%とし、一般用と業務用の料金の差を少なくしておくことで、将来の料金の見直しに向けての効果が大きくなると見込まれるため、本修正案を提案する。



※起立採決の結果、修正可決
●その他の議案8件
採決の結果、修正案を含め
すべての議案が可決



●大竹市水道条例の
一部改正について

【反対討論】
水道利用者の95・2%の市民の負担をふやして、4.8%の事業者の負担を減らすことで、効果が大きいとは到底考えられない。

【賛成討論】
将来的には業務用・一般用を一つにしていきたいという考え方で、利用者間の公平な負担に向けて、効果が一番大きい。

本会議での採決の結果
修正案を含めすべての議案が可決

令和4年9月6日～9月21日の16日間行われました。
詳細については、令和4年12月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。

総務文教委員会 主な審査内容

●職員の子供休業等に関する 条例の一部改正について

Q 令和3年度雇用均等基本調査の事業所調査の子供休業取得者の割合で、女性85・1%、男性13・97%という結果になっているが、大竹市職員の取得率について問う。

A 大竹市職員の子供休業取得率は、女性職員が100%、男性職員が22・2%である。

Q 男性職員の子供休業を取得しやすくするための取り組みについて問う。

A 職員の業務を既存職員で割り振ることや、代替職員を確保することなど、子供休業をフォローする仕組みづくりが重要であり、対応していきたい。また、手引書を充実させ、今回の改正内容を職員や所属に周知していきたい。

●工事請負契約の締結について

Q 最近の新聞報道でプールによる給水栓の閉め忘れや排水口による事故が起こっているが、事故を防ぐための機械の設置などを考えているのか問う。

A 排水弁や給水栓の閉め忘れを防止する特別な機能や装置については検討をしていない。対策としては、バルブを回す方向を明確に示し、教員が手動で開閉をする際に、操作誤りがないようにしている。また、各学校でプールの管理担当者を決めて、プールの使用期間中は、管理職を含めた複数人での最終確認をするなど事故防止のための管理体制をとっている。

排水口に関しては、プールの安全標準指針が文部科学省から出されており、引き込み事故を防止する二重構造など、けがや事故の防止等を含めて十分配慮した設計である。また、毎年、授業開始前にプール清掃を行う際に、教職員が排水口の防護柵がきちんと固定されているか確認をし、水泳の授業実施の際は、複数人で指導に当たり、児童生徒が安全に授業を実施できているか確認する教職員を配置し、授業中は水に入る前後に、児童生徒の点呼を行って安全確認をしている。さらに、プールの水を排水する際には、プール内に

児童生徒がいらないことを確認して行うなど、さまざまな危機管理体制となっている。

Q 小学校と中学校の間には横断陸橋があり、そこからの視線を遮る目隠しの対応と熱中症対策について問う。

A 教育委員会としても横断陸橋からの視線を遮る必要性を感じており、関係課で協議を行い、目隠しの対策を実施する方針である。現在の案では、道路占用許可を得た上で、水泳の授業を実施する時期限定でパネルやシートなど目隠しになるようなものを設置する予定である。また、熱中症対策としては、屋根は設置しないが、南側に配置する更衣室などの建屋の軒出を2メートルと長めにし、プールサイドに広い影の場所を確保し、見学や待機する児童や生徒に配慮した造りを考えている。

●令和4年度大竹市 一般会計補正予算（第5号）

Q 小学校管理運営事業は昨年度受納し、教育振興基金に積み立てた寄附金を財源として、玖波小学校の教育活動のための経費と説明があったが、役務費の内容と備品

購入費の図書の内容について問う。

A 役務費については、理科や科学に関して、児童の好奇心を高めるきっかけとして、見たり、実際に体験することができるようなサイエンスショーやワークショップなどを企画事業者に依頼して実施する経費である。今年度は、11月14日に『玖波小科学の日』として、寄附者に感謝の意を表するイベントなどを計画している。

図書については、寄附者から理科関係の図書を充実してほしいという思いを伺っており、科学的読み物の整備として、図鑑などを購入して、図書室の一角に『筒井文庫』として整備する予定である。また、手で触れることができるような標本も考えており、今年度は約150冊の図鑑など購入する予定である。

採決の結果、すべての議案が
原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決



<p>児玉 朋也</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバーカード取得について <p>小中 真樹雄</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教職員の働き方改革への独自の「処方箋」を <p>中川 智之</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヤングケアラーの支援について ● 带状疱疹予防ワクチン接種の助成について <p>北地 範久</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生ごみの減量化への取り組みについて 	<p>小田上 尚典</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設のデジタル化は進んでいますか？ ● 大好き大竹応援大使について ● DXの取り組み方について <p>日域 究</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県用水の受水は県条例を基準に <p>藤川 和弘</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三倉岳自然公園について ● 晴海臨海公園の水広場について <p>細川 雅子</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 玖波中学校統廃合の方針について見直しをしませんか
---	--

問 国はマイナポイント付与の取り組みなど、多額の資金を投じてマイナンバーカード取得を推進しています。今後は取得率に応じて地方交付税算定に反映する予定と聞きますが、そのようななった場合影響がありますか。

また、大竹市民はマイナンバーカードを使って、全国のコンビニエンスストア等で住民票、印鑑証明書、所得課税証明書、戸籍事項証明書等の発行が可能となっており、カード取得者にとっては、利便性の高い環境となっています。

現在のカード取得状況をお聞かせください。また、今後はどのような取得率向上への取り組みを図られるのか、お聞かせください。

マイナンバーカード
取得について



児玉 朋也



答 普通交付税の算定への影響については、現時点で詳細が明らかにされていないため不明です。

マイナンバーカードの取得状況は、令和4年7月末現在、12、706人の方が取得されており、交付率は47.7%で、全国平均を1.8%、県平均を1.1%、それぞれ上回っています。

普及のための取り組みとしては、現在、窓口でのマイナンバーカードの申請・交付手続きやマイナポイントの申込手続きの支援などを行っています。

また、今年度から公民館講座などと連携した出張申請受付、夜間・休日のマイナンバーカード交付窓口の定期的な設置、広報おたけに普及のための記事を毎月掲載するなどの新たな取り組みも始めています。



小中 真樹雄

教職員の働き方改革への独自の「処方箋」を

問 7月23日号の週刊東洋経済に「あなたの子どもの学校が崩れる」との記事が掲載されました。「教員不足が公教育の崩壊を招く」というのです。

名古屋大学の内田良教授らが昨年公立小中学校教員に行ったアンケートでは、総時間外勤務の合計値が過労死ラインとされる月80時間超の教員が小学校で59・8%、中学校では74・4%にも上っていたそうです。

市教委は小中学校教員の総時間外労働の平均値を把握していますか。月80時間を超えるケースはどのくらいあるのでしょうか。

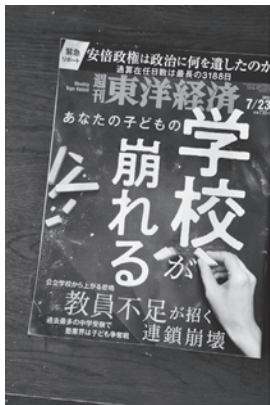
産休や育休が心配なくとれるような体制はできていますか。時間外手当は4%打ち切りという中での長時間労働です。どう

したら教職員の過重負担を減らせるか「大竹モデル」を示して下さい。

答 教育長 各校からの報告によると、今年度4月から7月までの総時間外労働の平均値は52時間6分で、勤務時間外在校時間が月80時間を超える教員は全体で18・7%、そのうち小学校教員は1%、中学校教員は17・7%でした。

産休・育休の代員が必要となった場合に備え、退職した教職員や臨時採用経験のある教職員などについて県及び近隣教育委員会と情報交換をし、常に情報収集をしています。また、県へ加配教員を要請し、今年度は3名措置されています。

教員が本来担うべき業務に専念し、子供と向き合う時間を確保することで教育の質の向上を図り、健康でやりがいをもって勤務できる環境づくりを推進したいと考えています。



中川 智之

ヤングケアラーの支援について

問 家族の介護や世話などを日常的に行っている、18歳未満の子供「ヤングケアラー」について伺います。

政府は今年度から3年間で「集中取組期間」と定め、ヤングケアラーを早期に見つけて適切な支援につなげるため積極的な広報活動を行い、自治体にも支援を行うとあります。

本市として現在どのように考えておられるのか伺います。

答 ヤングケアラーの早期発見・支援のため、家庭児童相談室をはじめ関係部署・関係機関が情報共有し、支援策を検討する体制を整えています。今後は、国の事業の活用や福祉・介護・医療・教育の分野横断的な取り組み、地域との連携なども研究していきたいと考えています。

带状疱疹予防ワクチン接種の助成について

問 带状疱疹は水疱瘡と同じウイルスで起こる皮膚の病気です。赤い斑点と水ぶくれが発症し、夜も眠れないような激しい痛みが現れ、顔面神経麻痺や難聴となる合併症を引き起こすこともあります。

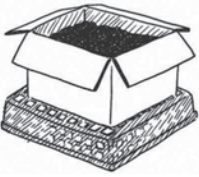
この带状疱疹の予防効果があるワクチン接種の費用を、助成していただけないか伺います。

答 带状疱疹ワクチンは予防接種法に基づき定期接種ではなく任意接種であり、健康被害が生じた場合、国による救済制度が適用されないため、市では全ての任意接種で費用助成を行っていません。今後定期接種に位置づけられた場合は、早期に接種できるようにしたいと考えています。



左右どちらかに症状が出る带状疱疹

段ボールコンポスト



バック型コンポスト



設置型コンポスト



いろいろな
コンポスト

問 生ごみ収集処理及び減量化への取り組みについて、処理量を見ると徐々に進められているところではありますが、そのうち家庭から出る生ごみを、すべて家庭で処理できれば単純計算で約3千万円の処理費の削減となります。

コンポストを活用することで、なお一層の減量化に取り組みたいかお伺いします。また、公衆衛生推進協議会の取り組みや、民間の取り組みをどのように把握され、それらとの連携をどのように考えているか伺います。



北地 範久

生ごみ減量化への
取り組みについて

電動生ごみ処理機



バケツ型コンポスト



答 コンポストは生ごみの容積と重量を削減するために活用されています。市においても、コンポストなどへの補助金を交付することで促進を図っていますが、近年は補助金申請が少ないのが現状です。あらためてコンポストの活用促進に向けて補助制度の周知を行い、市民の皆様にご活用いただける水分を含まないごみ出しをお願いし、ごみの処理費用を削減できるよう努めます。

公衆衛生推進協議会が斡旋しているコンポストなどの売却実績は、ここ数年横ばいもしくは減少しています。また、市内のNPO法人が1団体活動していることは承知していますが、連携はしていません。今後情報交換などを検討してみたいと考えています。

公共施設のデジタル化は
進んでいますか？



小田上 尚典

問 全国でデジタル化が進む中、令和4年に国は新たな方針を発表しました。その中でWi-Fiを含む通信環境の整備が前提とされています。公共施設への整備指針はありますか？特に総合市民会館、公民館や図書館には必要だと思えます。

答 市の情報政策としての整備指針はありませんので、今後意義や必要性が生じた場合は、その効果も含めて検討していきます。

教育長 図書館の学習スペースのインターネット環境の整備は検討中です。他の社会教育施設については優先度などを見極めながら進めます。

大好き
大竹応援大使について

問 令和3年にこの制度が始まりましたが、普段の大使の方々の情報共有や連携はどのようにされていますか？今後期待することは？

答 大使自身がSNSなどに掲載した情報を把握しつつ、市の情報の提供などを行っています。大使自身のペースで情報発信を行っていただく制度であり、大使の活躍が市の魅力発信につながることを期待しています。

DXへの
取り組み方について

問 今年度から新設された情報政策係がDXへの取り組みを行なうことになっています。進捗状況や意識の変化はありましたか？

答 国が定める自治体DX推進計画に沿って順次取り組んでいます。職員意識の変化は読み取れませんが、全庁的な情報共有を図る中で意識が醸成されることを期待しています。



日域 究

県用水の受水は
県条例を基準に

問 大竹市は防鹿浄水場からの自前の豊富な水があるにもかかわらず、三ツ石の県浄水場の水を年間1億円を払って購入しています。県条例には県の水は利用廃止も可能だと書いてありますが、県の担当者はそれを一切否定してきました。

一方、その県の水は単価自体が割高で県の水道事業には200億円もの赤字が積み上がっています。受水各市は以前から、県と値下げ協議していますが、水道決算書からはそのことが見え、決算の監査意見にもその記述がなく、私の不勉強もあって3年前まで知りませんでした。長年放置されてきた県用水の不自然な状況を正し、県が取りすぎたお金は各市に返すべきだとも思いますが、これらについて如何お考えですか。

答 県は県内14市町（大竹市は不参加）と「広島県水道広域連合企業団」を設立し、令和5年4月1日から水道事業を開始する予定です。

令和2年度の県企業局の水道用水供給事業決算における利益剰余金約203億円は企業団に承継されること考えられます。この剰余金のうち、市が利用している広島西部地域水道用水供給事業の剰余金約55億円については、西部用水を受水している団体の負担によって積み上げられたものなので、西部用水及びその利用団体のために使用し、他の事業には転用しないよう県に対して強く要望しているところです。



広島県三ツ石浄水場



藤川 和弘

三倉岳自然公園について

問 4歳〜80歳まで90名の方が参加し、三倉岳県立自然公園の大規模な清掃活動が行われました。参加者から、Wi-Fiの設置、キャンプ場の改修、登山道に案内看板の設置、夕陽岳と中岳の間のルート開通、登山道4合目と9合目にトイレの設置について要望がありました。今後の対応について伺います。



三倉岳
9合目倒壊小屋
4合目倒壊トイレ
壊れた看板

答 清掃活動に参加された皆様には、大変感謝しています。Wi-Fi環境の整備は、県に要望しています。キャンプ場は、第1野営場の改修をするという聞いており、看板は、利用者が分かりやすい看板の設置を要望しています。夕陽岳と中岳の間の登山道の復旧工事は、今年度実施予定です。トイレなどのご意見は、今後の要望事項に加えることも含め、検討したいと思えます。

晴海臨海公園の
水広場について

問 市民からご意見をいただいております。今の施設では、1歳2歳の小さい子供達は喜んでいますが、もう少し大きい子供達にも利用してもらえようという、もっと高くミストが出るように出来ないでしょうか。また、市民からの声では、水で遊べる施設「水広場」がほしいとの声が多く出ております。お考えを伺います。

答 利用者から「もっと水遊びが出来る施設がほしい」との要望を伺っていますので、今後、改良や新たな整備を検討したいと考えています。



細川 雅子

玖波中学校統廃合の方針について見直しをしませんか

問 玖波中学校の統廃合を示した「大竹市小・中学校充実のための基本方針」が定められて20年経ちました。この間、学校選択制や小中一貫教育が制度化され、成果を上げています。玖波中学校の生徒数は減少していますが、小規模校としての魅力と存在意義は逆に大きくなっています。基本方針の見直しをされませんか。

また、喫緊の課題として、
①部活の数が他校と比較して極端に少ないこと。これは学校教育の観点からみて問題だと思います。
②築40年経過し、施設の老朽化が進んでいること。災害時の第2次避難場所に指定されていますが、ユニバーサルデザインに対応できていません。この2点に対応が急がれます。
以上、お考えをお示しください。

答 教育長 「大竹市小・中学校充実のための基本方針」の方向性と方策の根幹は変わるものではないと考えますが、教育を取り巻く環境が大きく変化していることも事実です。このような状況を踏まえ、具体的な方策を練っていききたいと考えます。

部活動は、配置されている教職員数の関係で、他の中学校に比べて選択肢が少ないという課題があります。今後、他校との合同実施や部活動の地域移行について、課題も含めて、どのような形で実現できるか方策を探っていきます。玖波中学校は、建築から40年経過し、安全の確保を最優先事項として取り組んでいます。引き続き、安全対策、機能の回復や向上を図る対策の実施を検討していきます。



玖波中学校・生徒会スローガン

第4回市議会（臨時会） 議案の審議結果表

議案番号	議案など	賀屋幸治	末広天佑	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
議案第34号	令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決

第5回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案番号	議案など	賀屋幸治	末広天佑	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
議案第37号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	大竹市税条例等の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	大竹市水道条例の一部改正について（修正案）	—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	修正可決
議案第39号	大竹市水道条例の一部改正について（修正案を除くすべての原案）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	工事請負契約の締結について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	令和4年度大竹市一般会計補正予算（第5号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—：議長 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権

基地周辺対策特別委員会

令和4年9月12日開催
執行部からの主な報告内容

- ・航空機騒音状況記録簿（令和4年5月～令和4年7月）
阿多田島住民のご協力をいただき、24件の騒音実態が記録されました。コメントを添えて毎月防衛省へ提出するとともに、騒音対策への配慮と、訓練等の情報提供をお願いしています。
- ・阿多田島におけるデシベル値測定表（令和4年5月～令和4年7月）
阿多田島漁協の屋上に防衛省が設置している騒音自動測定器での計測結果です。90デシベル以上となった回数は、5月45回、6月28回、7月26回で、3カ月の合計は99回でした。前年同期の51回と比較して2倍近く増加していますが、その理由は期間中に外来機が飛来し、訓練で一時展開したことが影響しているのではないかと推察されます。
- ・岩国飛行場周辺の航空機騒音状況
防衛省が岩国航空基地の周辺市町25カ所に設置している騒音測定器から計測された値を、うるささ指数(Lden)に変換して集計しています。大竹市内には阿多田島漁協とサントピア大竹が測定地点です。月別のLdenの平均値で、測定地点のうち居住区に該当するものを比較すると、阿多田島はほぼ毎月、最も高い数値を示しています。

※ Ldenは昼間、夕方、夜間の時間帯別に重み付けを行った1日の等価騒音レベルです。

その他、住宅防音工事対象区域の見直しや、山口県住宅環境改善支援事業補助金などの説明がありました。

議会改革特別委員会（令和4年7月～9月）

主な協議内容

- 7月7日 第2回議員アンケート実施における是非
- 7月26日 第2回アンケート実施結果による意見交換
- 8月9日 アンケート回答に対する全議員出席での相互質疑応答
- 8月25日 議員定数について最終結論にいたる採決までの流れ
- 9月12日 議員定数についての採決、および委員長報告の確認
- 9月28日 これからの活動方針について



議員への
アンケート結果



議会改革
特別委員会会議録

9月12日の委員会では議員定数に関して6名の討論があり、その後、議員定数について現状維持か削減かを採決した結果、現状維持4名 削減3名となり、議員定数は16名で維持すべきと決めています。

↓ 本会議へ

本会議では8名の議員から討論があり、採決の結果、現状維持10名 削減5名となり、委員長の報告の通り議員定数は16名で維持すべきと決めています。

本会議での討論

【維持とすべきとの討論】

- 「市民へ独自で行ったアンケートでは、多数の方が定数削減に反対している」
- 「大竹市議会がどのような姿を目指していくか明らかにした上で定数を考えるべき」
- 「無投票だったから減らそうでは安易すぎる」
- 「削減するにしても具体的な人数がまとまっておらず、根拠のある数字を導き出せる状況にない」
- 「議論不足の状況で結論を急ぐべきではなく、現行の定数に頼らざるを得ない」

【削減とすべきとの討論】

- 「定数削減するのは今しかない」と強調したい
- 「15名で議会運営をこなしてきた実績もあり、将来の人口減少を予測し1名減とすべき」
- 「議員を減らせば議会事務局職員も減らすことができ、財政改革の効果もある」
- 「過去に16名からの議員定数削減の署名が出されたこともある」
- 「無投票になることへの重大さを考え議員自らが身を削る改革として定数減すれば、次回選挙において無投票となっても有権者に納得してもらえると考える」

本会議での議員定数に関する審議結果表

賀屋幸治	末広天祐	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域究	細川雅子	寺岡公章
—	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○

—：議長
○：現状維持
●：削減

請 願

<p>【請願名】 少人数学級の推進を含む計画的な教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願</p> <p>【提出者名】 連合広島大竹・廿日市地域協議会 議長 迎 尚樹</p> <p>広島県教職員組合大竹廿日市支区 委員長 米田 実穂</p>	<p>【要旨】</p> <p>改正義務標準法が成立し、小学校の学級編成標準が学年進行により段階的に35人に引き下げられます。今後、小学校だけに留まるのではなく、中学校・高等学校等での35人学級の早期実施が必要です。さらに、きめ細やかな教育をするためには30人学級の実現が不可欠です。</p> <p>学校現場では、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しています。さらに新型コロナウイルス感染症対策による教室の消毒作業等が加わり、多忙化が一層進んでいます。子どもたちのゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが、困難な状況となっています。</p> <p>こうした中で、一人一人の子どもに対してきめ細やかで丁寧な対応を行うためには、働き方改革はもちろんのこと、国段階の国庫負担に裏付けされた少人数学級の推進と、加配の増員や少数職種の配置増も含む計画的な教職員定数の改善が求められています。</p> <p>また、義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が小泉政権下の「三位一体改革」の中で2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、地方自治体の財政を圧迫しています。</p> <p>将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。教育の機会均等が担保され、教育水準が維持・向上されるよう施策を講じ、教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実させる必要があります。</p>	<p>【付託委員会】 総務文教委員会</p> <p>【委員会の結果】 採択</p> <p>【本会議の結果】 採択</p>
---	---	--

陳 情

<p>【陳情名】 学校存続に向けた広島県立大竹高等学校支援の陳情</p> <p>【提出者名】 広島県立大竹高等学校同窓会 会長 清永 恵三</p> <p>広島県立大竹高等学校PTA 会長 林 未央</p>	<p>【要旨】</p> <p>本校は大竹市内唯一の県立高等学校であり、昨年度創立100周年を迎えた伝統校ですが、学区制の廃止や少子化等の影響もあって、近年では定員割れが続いており、生徒数の確保が困難な状況となっています。広島県教育委員会の「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」によれば1学年が4～8学級規模（全学年12学級～24学級）が適正としており、全学年11学級の本校としてはまさに瀬戸際に位置しているといっても過言ではありません。今後も統廃合の対象校とならないように、より魅力的な高等学校となるべく、次の3点に焦点化して魅力的な学校づくりに努力しているところです。</p> <p>①「進路実現」への取組 ②「情報発信」への取組 ③「他行との差別化・魅力化」の取組</p> <p>しかしながら、このような夢の実現に必要な資金は広島県からの予算化や援助はできないものばかりです。その資金を集めるために、本校同窓会・PTA・生徒が一丸となって昨年度から継続して本校活性化のための募金活動を続けています。</p> <p>最近では、このような生徒・保護者・学校・同窓会が一丸となって取組んでいる姿勢に対して多くの大竹市民の皆様から、ご賛同のお声やお手紙をいただくようになりました。</p> <p>さらなる生徒たちの夢の実現と学校存続に向けた取組みへのご理解とご支援をお願い申し上げて、陳情とさせていただきます。</p> <p>1. 学校存続に向けた大竹高等学校の活性化・魅力化のために支援すること 校内塾、国際交流への教育支援、特色ある活動の支援（年間支援額300万円）</p>	<p>【付託委員会】 総務文教委員会</p> <p>【委員会の結果】 継続審査</p> <p>委員会での意見 慎重に協議すべき内容であり、情報不足・勉強不足であるため継続審査とすべき。</p> <p>県立高等学校ということもあり、この請願が適正かどうかの判断は委員会ではできないか。意思を示さず継続審査とするのは好ましいことではない。</p> <p>【本会議の結果】 継続審査</p>
---	--	--

請願の採択をうけて、次の意見書を提出しました。

意見書（抜粋）

改正義務標準法が成立し、小学校の学級編成標準が学年進行により段階的に35人に引き下げられます。今後、小学校だけに留まるのではなく、中学校・高等学校等での35人学級の早期実施が必要です。さらに、きめ細やかな教育をするためには30人学級の実現が不可欠です。

学校現場では、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しています。さらに新型コロナウイルス感染症対策による教室の消毒作業等が加わり、多忙化が一層進んでいます。子どもたちのゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが、困難な状況となっています。

こうした中で、一人一人の子どもに対してきめ細やかで丁寧な対応を行うためには、働き方改革はもちろんのこと、国段階の国庫負担に裏付けされた少人数学級の推進と、加配の増員や少数職種の配置増も含む計画的な教職員定数の改善が求められています。

また、義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が小泉政権下の「三位一体改革」の中で2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、地方自治体の財政を圧迫しています。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。教育の機会均等が担保され、教育水準が維持・向上されるよう施策を講じ、教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実させる必要があります。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、2023年度の予算編成にあたり、次の事項について、措置を講じられるよう強く要請します。

1. 少人数学級の推進を含む計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年9月26日

大竹市議会

(提出先)

内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

請願や陳情の提出方法

どなたでも市政に対する意見や要望を直接、市議会に届けることができます。

① 請願と陳情とは

請願・陳情は、国や自治体に対して一定の処置を求めるものです。

※請願書の提出には、市議会議員の紹介が必要です。

② 書き方

件名(請願の場合)

令和__年__月__日

大竹市議会議長 _____ 様

住 所 _____

氏 名 _____ ㊟

紹介議員 _____ ㊟

趣旨

項目・

・

・

※ 署名の場合は押印不要

③ 提出先

市役所5階の議会事務局に提出してください。事前に、お電話でのご相談も受け付けています。

(☎59・2183)

詳細は市ホームページをご覧ください。



議会日誌

令和4年8月
～令和4年10月

- | | |
|--|---|
| <p>8月5日 生活環境委員協議会
9日 議会改革特別委員会
23日 大竹港振興協議会（書面審査）
25日 議会改革特別委員会
30日 議会運営委員会
 広報広聴特別委員会</p> <p>9月6日 本会議
7日 本会議
 議員全員協議会
8日 生活環境委員会
 生活環境委員協議会
9日 総務文教委員会
12日 基地周辺対策特別委員会
 議会改革特別委員会
16日 議会運営委員会
 広報広聴特別委員会</p> | <p>21日 本会議
 決算特別委員会
28日 議会改革特別委員会
10月3日 広島県市議会議長会臨時会
5日 決算特別委員会
7日 広報広聴特別委員会
11日 決算特別委員会
12日 決算特別委員会
17日 中国市議会議長会臨時総会（境港市）</p> |
|--|---|



「市政のあらまし（令和4年版）」を販売しています。（1冊 1,000円）

市のあゆみ、人口規模や予算・決算状況をはじめ、市の業務全般にわたる状況が集約されています。

議会事務局（市役所5階）で販売しています。

大竹市情報公開コーナー、図書館等でも閲覧できます。

12月議会日程（予定）

本会議	特別委員会	〃	常任委員会	〃（予備日）	本会議
12月15日（木）	12月7日（水）	12月6日（火）	12月5日（月）	12月2日（金）	12月1日（木）

市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているのか傍聴してみませんか。

議
会
を
傍
聴
し
ま
せ
ん
か





第38回 スマイル インタビュー



市民の皆さんに
お願いしたいことはありますか。

主な活動を教えてください。
大竹市視覚障がい者福祉協会の会員の皆さんの支援です。会員が会合に出られる時や、レクリエーションに参加される時に支援をしています。

サークルを作られたきっかけなど教えてください。

最初は視覚障がい者福祉協会の事務局として支援していましたが、昭和61年にボランティアグループとして立ち上げました。当初は視覚障がい者協会の会員も多く、ガイドヘルプボランティアの会員も20名くらいいましたが、現在は利用者もグループの会員も共に減っています。



企業へのガイドヘルプ講習

視覚障がい者の普段の生活で、お気づきがあればお願いします。

情報の入手先は主にラジオですがいろんな情報が入りにくいそうです。特に、テレビのニュース速報などです。速報が入ったのはチャイムの音でわかるのですが、その後は画面に文字しか出ないので、何が起きたのかわからなくて不安が高まるそうです。



アイマスク体験・歩行訓練

長い間の活動で楽しかったことを紹介してください。

平成9年に県の派遣により、所沢市で開催された歩行訓練士の講習に行かせていただきました。その後、県内の各サークルに歩行訓練の指導をさせていただきます。多くの方と知り合いになりました。



ボランティアの皆さん

最後に一言
視覚に障がいをお持ちの方、お手伝いいただける方、私達と一緒に活動しましょう。

あとかぎ

酷暑の夏がようやく終わり、朝晩はひんやりしてまいりました。入れ替わるように、今度は経験したことのない台風の到来です。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。市内にはレベル5（緊急安全確保）の避難情報がだされ、今までにない緊張感で過ごされた方も多いと思います。時に大きな爪痕を残す台風ですが、事前に備えができる数少ない災害だそうです。

市のホームページでは、市内の河川の浸水想定図が閲覧できます。「ひろしまマイ・タイムライン」や「防災タイムライン」など防災に役立つツールも使って、災害への物心両面の備えをお願いします。

細川 雅子

広報広聴特別委員

委員長
副委員長

- | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小田上 尚典 | 寺岡 公章 | 藤川 和弘 | 山中 智一 | 山崎 年一 | 日域 雅子 | 細川 雅子 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

